

春風亭一之輔



セシオン杉並で
会いましょう！

Photo: キッチンミノル

セシオン=であい 寄席

一龍斎貞鏡



ウクレレえいじ



雷門音助



三味線 恩田えり

2026年 2月19日 木 セシオン杉並

開場 13:30 開演 14:00 料金 3,800円 全席指定

主催：高円寺ノラや寄席

協力：高円寺演芸振興協会

セシオン=であい 寄席新聞

その3

2025年12月発行

第三回 セシオン=であい寄席

「笑い人と人が出会う場所」—セシオンとはスペイン語で出会いという意味です—

杉並で新しい演芸会が始まりました。今回は古典の雄が集う第三回目！当会は隔月開催で、現代の落語・色物芸（漫才、漫談、音曲、コント等）を気軽に幅広い世代に楽しんで頂ける会です。顔付を手がけるのは、杉並区高円寺で20年以上にわたり多くの落語会を催してきた「ノラや寄席」。落語初心者の方も演芸ファンの方も、笑いを通じて人と人が出会いつながる、そんな温もりのあるご近所の演芸会を目指します！是非、毎回お楽しみにお運び下さい。

出演者紹介 / 杉並の思い出（本人寄稿）

しゅん ふう てい いち の すけ

春風亭 一之輔 〈落語〉

出囃子：さつまさ

2001年5月 春風亭一朝に入門 前座名は「朝左久」
2004年11月 ニツ目昇進「一之輔」と改名
2012年3月 真打昇進

落語協会理事

杉並は「厄介で刺激的な」落語会の多い場所というイメージ。座・高円寺では新作や改作落語のネタおろしや、天どん・こしら・萬橋各師匠という個性派との二人会。ノラや、HACO、ギャラリー工ではすぐ目の前に居るお客さんとの真剣勝負。さてこのセシオンはどうなりますか？心地よい刺激がありますように。

いち りゅう さい てい きょう

一龍齋 貞鏡 〈講談〉

2008年1月 一龍齋貞山に入門 前座名は「貞鏡」
2012年2月 ニツ目昇進
2021年12月 貞山死去により一龍齋貞花門下となる
2023年10月 真打昇進

入門と同時に、「実家だとやりづらから家を出ていきなさい」と師父・一龍齋貞山から仰せつかり、初めての一人暮らしに選んだ地は高円寺であった。それから9年。新婚の住居に選んだ地は東高円寺であった。人生の節目節目で見守ってくれている杉並で、今日は講談を読ませていただけることが無上の喜びだ。

ウクレレえいじ 〈ウクレレ漫談〉

出囃子：憧れのハワイ航路

2000年 ウクレレえいじとして活動開始
2023年12月林家彦いち門下として落語協会に入会
2024年『第27回みうらじゅん賞』受賞

約25年前。阿佐ヶ谷に住んでいました。芸人だけでは食べていけず、高円寺の建設会社でバイトしてました。昇太師匠、喬太郎師匠、白鳥師匠、彦いち師匠の落語会で打ちひしがれた夜。明るる朝。季節外れの大雪。思い悩んだ末、芸人だけで勝負するため手紙を書きバイトを辞めました。給料は倍額振り込まれていました。

かみなりもん おと すけ

雷門 音助 〈落語〉

出囃子：たぬき

2011年10月 雷門助六に入門
2016年2月 ニツ目昇進
2026年5月 真打昇進・三代目 雷門五郎 襲名予定

高円寺、西荻窪、堀之内のお祖師様、落語会でよく訪れる杉並。以前成田東に住んでいました。青梅街道を歩いていると小劇場がちらほら。演劇の開演を待つお客さんの列。落語の速記本がやけに多い古本屋。小春志師匠、当時こはる姉さんの落語会のチラシ。自分もネタ増やさなきゃ。ニツ目になったばかりそんな光景を見て奮い立っております。

2026年 2月19日(木) セシオン杉並

開場 13:30 開演 14:00 (16:00 終演予定)

料金 3,800円 全席指定



「セシオン杉並」東京都杉並区梅里1丁目22-32 www.sesion-suginami.jp

●東京メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」徒歩5分・「新高円寺駅」徒歩7分

12月23日(火) 第二回セシオン=であい寄席
会場にて、前列チケットを先行販売致します。

・ノラやHP

www.noraya-yose.com



・チケットぴあ

<https://t.pia.jp>

Pコード: 539078



・カンフェティ

www.confetti-web.com

セシオン=であい寄席 第三回 で検索

